

大貫小学校保護者の方への説明会での質疑

期日：令和6年6月7日（金）

出席者

市教育委員会：岡根教育長・中山教育部長・細谷学校教育課長・大畑主幹・苅込指導主事

保護者：15名

富津市教育委員会岡根教育長からの挨拶

現在、教育委員会では全国的な課題であります少子高齢化の中で、富津市でも、極めて少数の学校が見られることから、平成30年に策定いたしました小学校の小中学校再配置計画に沿って取り組んでまいりました。令和2年度から、金谷小学校、竹岡小学校、天神山小学校、湊小学校を再配置して、天羽小学校に。そして、天羽東中学校と天羽中学校を再配置して天羽中学校に、佐貫中学校と大貫中学校を再配置して大佐和中学校を再配置いたしました。現在は環小学校と佐貫小学校が、極めて少数になっていることから、環小学校は天羽小学校と、佐貫小学校は大貫小学校と学校再配置に取り組んでおります。

極めて少ない児童数ですと、自分と異なる意見を理解して討論するというようなことが極めて困難になって、社会性を育む上でも課題であります。オンラインでの交流もできますが、やはり対面で交流することの大切さを感じております。教育環境の整備ということで、児童の保護者の皆様のご理解が最も大切なことですので、本日の説明会を行っております。

どうかご理解をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

意見・質問等

Q1：再配置計画に基づいて、行うということですが、アンケートで賛否をとる理由は何でしょうか。再配置計画の中にそういった記述があり、賛否を問うて、概ね賛成であったら学校再配置を行うという記載があるのでしょうか。

A1：概ね賛成ということについて、学校再配置計画には明記はされておられません。

とにかく第一には、お子さんが通われている学校の保護者の方々の概ね賛成が得られなければ、学校再配置については、進めていけないと市教育委員会としては判断していますので、佐貫小学校の保護者の方と大貫小学校の保護者の方の、概ね賛成を得られた上で、学校の再配置を進めていきたいということを考えて進めてきました。

賛否については、要するに多数決を取るという感じではないです。51対49で賛成ですねという考えはしておられません。しかし、全員が賛成しなければ学校再配置を行わないということではなく、子供たちの教育環境について理解をしていただくことが、ある程度皆様のご理解をいただくという状況を踏まえた上での動きをしようということで考えております。

皆さんの意向を知る上でも、アンケート調査をしながら、対応していきたいなと思っています。また、アンケート結果をお伝えしながら、皆様のご意見を伺いたいと思います。

Q2：なぜ旧町をまたぐ再配置を選んだのでしょうか。既に大佐和中学校ができていますが、そもそもは町が違います。地形的なものはあるでしょうが、町が違うというのは文化が違うわけで、佐貫小学校の独特の良さがなくなってしまうと思います。近いという理由以外があれば教えていただきたい。

A2：佐貫小学校の子供たちの環境を変えていく上で、どこが一番適してるのかということ考えたときに、私は佐貫小学校の出身で、大佐和町で過ごしました。君津郡大佐和町でした。確かに笹毛地区は、天羽小学校に行くことと大貫小学校に来ることと、それほど差はない状況にあると思いますけど、旧町の大佐和町という条件の中で一番近いところとして、大貫小学校に移ってもらうのはどうなんだろうということに進めています。子供たちにとって、どのような環境で取り組ませたらよいかということについては、住民の方たちの考え方もあるかもしれませんが、今の子供たちのこの少子化の中でどのような学校規模が一番適切なのかという点でいうと、この大貫小学校と学校再配置を行うことがベターだろうということで選びました。ご意見があつて、違うところにした方がよいという意見があれば、お聞きをしたいと思いますが、そういう考えで進んでいます。

Q3：なぜ佐貫小学校での保護者説明会と同時期に説明が進められなかったのかなと思います。学校名が変われば、校歌も変わるという話であれば、それは我々にとってもアイデンティティの問題ですから、佐貫小学校を先に説明した理由について教えていただければと思います。

A3：教育委員会として、佐貫小学校と大貫小学校の再配置を考えたときに、大貫小学校側に佐貫小学校の子供たちに来てほしいと考えましたので、佐貫小学校区に建っている学校に通わなくなるという学校を先に説明させていただき、概ね賛成が得られたと市教育委員会として判断した後に、大貫小学校の保護者説明会を行わせていただきました。小学校にしてみれば、学校の子供たちがこの学校に通わずに違う学校に通うという、大きなこれからの行動があるわけで、まず、その学校の方々にこのような状況ですので、学校再配置についてご理解をさせていただけますか、という話を先に進めて、概ね賛成が得られたと判断した後に、受けてもらえる学校に行つて、受けていただけますかという話を進めるという手順で取り組んでおりますので、同時進行で行うという考えはありませんでした。以前学校再配置を行った天神山小学校、竹岡小学校、金谷小学校も同じで、その学校に通わなくなる保護者の皆さんに、ご理解を得てから湊小学校の方に話をして、天羽小学校に名前が変りましたが、湊小学校の方には受け皿として、ご理解いただけますかという話で進めてきましたので、同時には進行はしておりません。

Q4：検討委員会については、どのような形やメンバーで構成される予定かを教えてください。

A4：検討委員会については、例えば、教育課程については、教職員が中心になるといいます。PTAの組織等については、PTAの方々が中心に、学校名や校歌・校章などにおいては、学校職員や保護者や地域の方などをメンバーとして考えております。概ね賛成が得られた後で、どのような検討委員会で、どのようなメンバーでという詳細について、検討していきたいと思います。必要に応じてアンケートを実施するなど、地域の方や保護者の皆さんのご意見も伺っていき、メンバー以外の方のご意見も広く受けながらと思っております。